

都道府県ニュース

What's happening in your district

東京都春季 PL 大会レポート JPA 監事 IPF 国際審判 Team Ponze 代表 物江 毅

散り始めた桜が流れる 4 月 4 日、TXP にて今年の東京都 PL 大会は開催された。

弊協会が会場をお借りした TXP は、設立 3 年に満たない新興ジムであるが、本年 2 月つくば開催のジャパンクラシック BP 大会、3 月和歌山開催のジャパンクラシック PL 大会にいずれも団体優勝。いま日本で一番勢いがあるジムの一つと言ってよいであろう。今回も阿久津オーナー、武田ヘッドストレングスコーチの両首脳は勿論の事、同ジムの会員の皆さんが、会場設営や撤収に大車輪で働いて下さった。主催者の一員として心からお礼を申し上げたい。



会場の TXP ジムは、今、日本で一番の勢いのあるジム

A グループ 女子全員・男子 66kg 級

ミッドプレス初台でトレしておられるお二人、47kg 級 M 1 萩原千史選手、52kg 級 M 2 島崎典子選手が、後述する富田英吉さんのセコンドにより、夫々結果を出された。萩原さんは S Q の第一試技、主審のスタート合図前に試技を開始して失敗であったが、第二試技で 42.5kg を落ち着いて立ち、成功、B P と D L では共に三試技とも成功し、T L 145kg であった。島崎さんは、九試技全部成功し、T L 117.5kg であった。お二人ともこれから T P A の試合にどんどん出場いただきたい。

52kg 級 J R に出場した藤浪瑠麗選手は初めてのフルギアの試合との事であったが、チームのコーチである福島友佳子さんのサポートを受け七試技成功。S Q 115kg B P 60kg D L 120kg T L 295kg、D L と T L は東京新記録であった。

57kg 級一般には、ノーギアの強豪・作山悠子選手が昨秋の都大会に続いて出場、七試技成功で、S Q 125kg B P 90kg D L 135kg T L 350kg、S Q と T L は東京新記録で女子ベストリフターを獲得した。作山さんは残念ながら 5/10 の関東ブロック国体最終予選には出場されないとの事であったが、古屋典子さんにも匹敵する強烈な強さを、来年以降国体でもぜひご披露いただきたい。同級の M 2 には馬場美貴子選手がフルギアで出場、東京記録が存在しなかったため、成功全試技が東京新となり、S Q 120kg B P 60kg D L 125kg T L 305kg。T L の 305kg は同級の日本記録に迫る素晴らしい事であった。

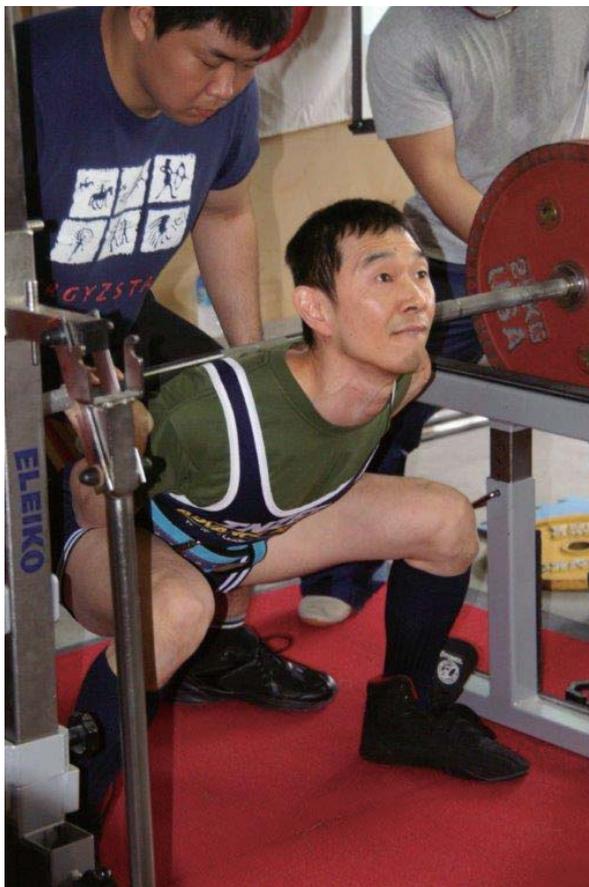
72kg級一般には、昨秋の都大会で63kg級の全種目に東京新を記録した野間口志保選手が、一階級上げて出場、全種目昨秋の記録を上回り、S Q 145kg B P 72.5kg D L 165kg T L 382.5kg。S Q, D L, T Lは一般・M1の日本記録を上回る強さであった。

82kg級M3には久しぶりの試合出場となるベテラン作馬真由美選手が登場。試合勘がやや戻っていない印象であったが、SQ80kg BP52.5kg DL100kg TL232.5kgを記録、全種目東京新記録であった。

男子66kg級一般では、ディフェンディングチャンプの木村琢磨選手が登場、BPの調子が戻ったと試合前に語っておられたが、第二試技150kgのみの成功で、本人はご不満であったようであるが、SQ185kg DL215kg TL550kgで優勝、男子ベストリフターも獲得した。5/10の関東ブロック国体最終予選でも是非とも頑張ってください。

同級のM1は今期から新たにチーム結成された「チームC&M」のお二人、選手宣誓をして下さった赤坂義昭選手とTPA所属審判・佐々木剛選手が同門対決。サブTLは5kg差で拮抗していたが、DLに一日の長がある赤坂さんが185kgを引き切りTL430kgで優勝、佐々木さんはTL400kgで2位となった。

同級M2は高坂正浩選手がTL360kgで優勝。M3では、久しぶりの試合出場のベテラン飯野充選手が、TL355kgで優勝した。



B グループ 男子 59kg・74kg級

このグループには70歳を超えるM4の選手が3名出場した。

59kg級M1は上述したミッドプレス初台の富田英吉選手が得意のDLで180kgの東京新を樹立、TLも395kgの東京新記録であった。富田さんはご自分のFacebookで積極的に東京大会参加を呼びかけてくださっておられ、関係者の一人として御礼申し上げる。

同級M4には、カレンダーイヤー73歳の小林芳雄選手が、SQはやや不安定で第二試技100kgのみの成功であったが、BPは二試技成功で75kg DLは三試技とも成功し120kg TL295kgを記録した。これからもどんどんTPA主催の試合にご出場いただきたい。

74kg級一般は8名出場、チームC&Mの上田窓選手とTXPの根立エリキ選手が大接戦を展開した。お二人ともBP第二試技まで全試技成功、サブTLは根立さんが300kg、上田さんが295kgで5kg差。DLに入って根立さんは180、195、200と三試技とも成功、TL500kgで

都道府県ニュース

What's happening in your district

180kgの東京都新を出した富田選手。

都道府県ニュース

What's happening in your district

試技を終えた。対する上田さん、第一試技 200kg に失敗したが、第二試技同重量を落ち着いて成功、第三試技で 10kg UP の 210kg に挑み、これを引き切り TL505 kg で優勝を奪い取った。三位は TL425kg で高橋達也選手。特筆すべきはカレンダーイヤー 71 歳ながら一般で出場された TPA 理事・大ベテランの木島捷行選手で、九試技全部成功、SQ160kg BP97.5kg DL160kg TL417.5kg を記録。SQ DLTL は東京新記録であった。

同級 M1 は杉本基彰選手が八試技成功、TL430kg で優勝。M4 には、木島さん同様カレンダーイヤー 71 歳の石田光司選手が、セコンド福島友佳子さんの暖かい励ましにより八試技成功、TL252.5kg を記録した。

C グループ 男子 83kg 級

東大 OB の千葉浩樹選手は、本年が JR 最後の年、フルギアで出場。SQ は三試技とも成功で 245kg の東京新、BP に入ると 155kg が不安定なプレスで第一、二試技とも失敗、第三試技で同重量を何とか押切り、これで落ち着きを取り戻し DL は三試技とも成功し 225kg の東京新、TL も 625kg の東京新を樹立した。セコンドに入った千葉産の先輩、TPA 理事・JPA2 級審判柴原さんの励ましも効いたのではないだろうか。

同級一般は三つ巴の戦いとなった。

長尾潤選手、SQ は一試技のみ成功で 185kg、大会常連の北原敏郎選手は三試技とも成功で 175kg、迫田泰英選手は、二試技成功で 180kg、BP は長尾さん、北原さんが 140kg、迫田さんは 135kg とサブ TL315-325 間に 3 人が存在という接戦であった。DL は迫田さん 230kg TL550kg で 3 位、北原さん 237.5kg TL552.5kg で 2 位、長尾さんは 245kg を引き TL570kg で優勝という結果となった。

同級 M1 はフルギアで出場した大会常連の渡辺孝選手が TL540kg で優勝。M2 はファラージョゼフ選手が TL412.5kg で優勝。M4 にはカレンダーイヤー 73 歳の大会常連の佐藤喜次郎選手が、腰を故障されているという事であったが安定した試技を披露して下さり八試技成功、SQ125kg BP95kg DL135kg TL355kg を記録した。いつまでもお元気で今後も試合にご出場いただきたい。

D グループ 93・105・120kg 級

93kg 級一般ではフルギアで出場した堀内健司選手が福島和文・友佳子コーチ夫妻のサポートを受け九試技成功、SQ225kg BP175kg DL225kg TL625kg で優勝。

同級 M1 では大会常連の金田一人選手がこちらも九試技成功、とても安定した試技を披露して下さり、SQ215kg BP122.5kg DL247.5kg TL585kg で優勝。このセッションで私はテクニカルコントローラーを勤めさせていただいたが、大トリで登場した金田さんに「引いて帰りましょう！」と呼びかけたところ「やります！！」という力強い答えが返ってきた。宣言通り 247.5kg の本日最重量を見事に引き切って下さった。

105kg 級一般では私の TXP チームメイト首代敬次郎選手が、八試技成功、SQ175kg BP132.5kg DL185kg TL492.5kg で優勝、TL500kg の大台が目の前に迫ってきた。首代さんは DL のダウンコール後、本当に丁寧に床にバーベルを戻され、テクニカルコントローラーに入りながら、観ていて感動してしまうほどであった。

同級 M1 には試合当日 TXP に入会した中村敏雄選手がこちらも八試技成功。SQ200kg BP170kg DL207.5kg



TL577.5kgで優勝。中村さんは得意のBPでBPシャツのトレを昨秋から始められたが、その体型からして250kgに成功する日も遠くないのではないかとと思われる。このセッションで副審を勤められたTXPオーナー阿久津貴史さんも私と同意見であった。

同級M2にはTPA理事中谷幸市選手が出場、BPで中々フィニッシュが決まらず苦戦していたが第三試技で230kgに成功、SQ200kg DL210kg TL640kgの東京新記録を樹立した。

120kg級JRにはフルギアで石塚峻太選手が出場。SQ265kg BP165kg DL235kg TL665kgの全種目東京新記録で優勝した。

団体戦は、TXPが41点で優勝、2位には新登録のチームC & M33点、3位立川トレーニングセンター31点、4位パワーハウス24点、5位ノーリミッツ21点という結果となった。

最初にも書かせていただいたが、今大会はTXPの全面協力により、遂行された。TXPの会員の方々は、パワーに対する取り組みがとて真摯で、ジム内は強くなりたという意志が充満している。ノーギア全国大会では頂上まで登りつめた事から、次の目標は全日本PL大会、全日本BP大会の団体優勝ということになるであろう。会員各位の想いを結集して是非とも目標を達成していただきたい。

TPA主催の本年度秋季PL & BP大会は、10月10日、昨年同様小平市民体育館で開催される。皆様、奮ってご参加ください！！

大会結果は記録欄をご覧ください。

写真下：上は気合の入った試技を見せた石塚選手

下はM4で大健闘の佐藤選手

写真右：上はギア初挑戦の藤波選手

下は東京の理事として立川TC会長として選手を引っ張る木島選手



都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

東京都春季BP

大会レポート

写真：TeamPonze 代表

物江 毅

報告：編集部

吉田寿子



平成 27 年度が始まり、4/4 には東京都春季パワー大会、4/12 日は、東京都春季ベンチプレス大会が開催されました。東京オリンピック、パラリンピックを控え、東京の主だった体育館などが改装工事に入り、普段でも借りにくい体育館が、ますます、借りにくい状況の中、パワーでは T X P ジムさんが会場を快く提供下さり、また、ベンチ大会では、国立市立第六小学校の体育館貸し出しを許可していただいた川畑先生に東京都協会一同、心より感謝申し上げます。当日は、東京の J R がストップするというアクシデントもありましたが、大会は、遅延することなく、東京ベンチ大会スタッフ一同のおかげで、大変盛会のうちに大会を終えることが出来ました。

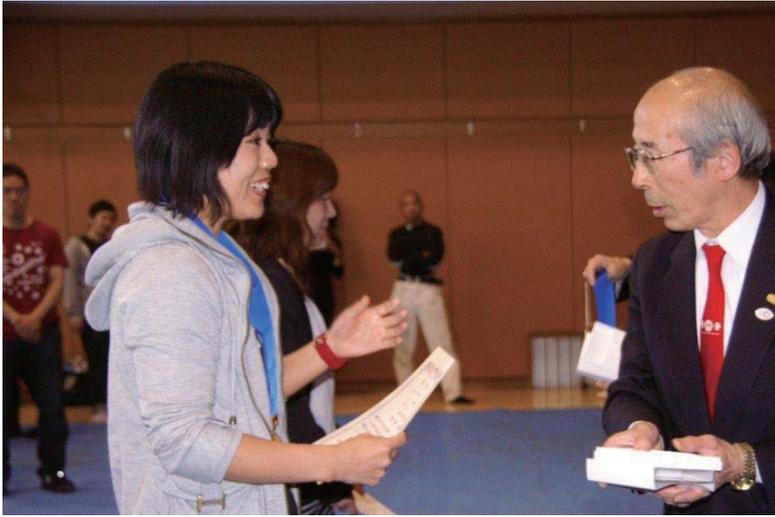
大会は、高校生から、80 歳を超えて初めて試合に参加するという、素晴らしい、チャレンジがありました。全日本ベンチの標準狙いの選手、クラシックベンチ標準ねらいの選手、初めて参加する選手、と、様々な目的を持った選手が一堂に会し、和気あいあいと、また、緊迫した試技がみられ、選手も役員も大会を存分に楽しめたと思います。

大会結果は、記録欄に掲載させていただきました。ご高覧下さい。

補助員として一日中働いてくださった関東学生連盟の皆様、審判員、スタッフとして運営を担当してくださった役員の皆様、大変、ご苦労様でした。ありがとうございました。



80 歳を超えて初出場のベンチ大会で、57.5 kg をマークした河合選手、友達、奥様、お孫さん、ひ孫さん、皆さんから祝福を受けておられました。

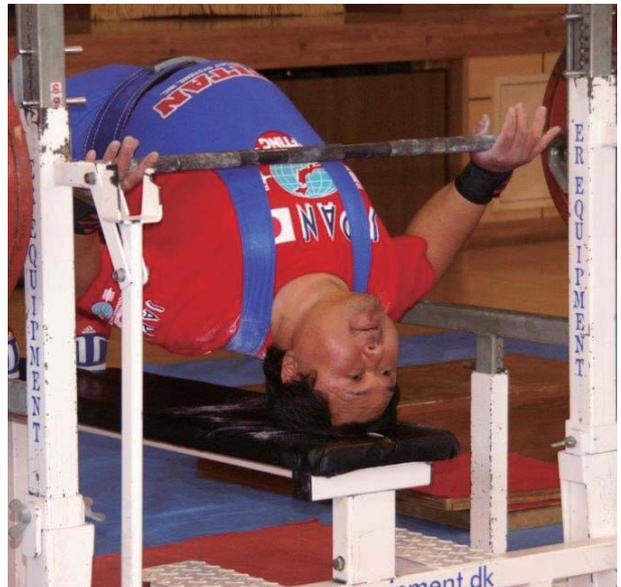


平成 27 年度春季ベンチの女子最優秀選手は、57 k g 級、ノーギアで 62.5 k g をマークした田島選手

男子最優秀選手賞は、66 k g 級で 187.5 k g に成功した石川選手



写真右：パワー三種でも活躍、中村選手
写真下：会場の取得にご尽力いただいた川畑先生、試合では、100 k g に失敗、悔しい金メダル。



都道府県ニュース
What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

和歌山国体

九州ブロック予選

資料提供：

沖縄県、盛 龍也

和歌山国体に向けて、九州ブロックでは、4月11日、予選会が行われたとのことです。

この結果沖縄から次の方々が九州代表として選ばれたとのことで、沖縄の新聞に大きく報道されました。記録は、記録ランに掲載させていただきました。

- 男子59kg級；宮城善（奥武山TC）
- 男子66kg級；会田隆宏（奥武山TC）
- 男子74kg級；満名宣行（奥武山TC）
- 男子83kg級；宮下聡記（奥武山TC）
- 男子93kg級；池田翔一（チームGUTEL）
- 女子84kg級；照屋利恵（Power Sport）

九州選手権と優勝した選手ら。前列中央は清澤伸幸、向左は山下副理事長、山崎は清澤伸幸、向左は山下副理事長、山崎は清澤伸幸、向左は山下副理事長

県勢5人が優勝

九州パワーリフティング

国体予選を兼ねたパワーリフティング九州選手権が11日、福岡県吉井町から出場した5人が1位に入りを果たした。出場したのは男子の59kg級の宮城善、66kg級の会田隆宏、74kg級の満名宣行、83kg級の宮下聡記、93kg級の池田翔一、女子の84kg級の照屋利恵。6人は9月の和歌山国体で初めて公開競技となるパワーリフティングの九州代表に決定している。

13日、奥パワーリフティング協会の一理事、山下副理事長と共に

会を振り回り団体への抱負を語った。宮下、満名、宮城は同じ会社に勤務。単身者の宮下は「健康増進にもいい。刺激を受けて頑張っている」と笑顔。会田は「国体を目指すにきた。九州大会以上の記録を出したい」と意気込みを語った。池田は「個人競技のよすが、仲間の存在が大きな支えになっている」と魅力を語った。照屋は「少しづつ記録が伸びていくのが楽しい。団体はみんなの憧れ、頑張りたい」と語った。

▽59kg級 宮城善 奥武山TC
57.5kg (スクワット) 92.5kg (ベンチプレス) 225kg (合計)
▽66kg級 会田隆宏 奥武山TC
60kg (スクワット) 120kg (ベンチプレス) 240kg (合計)
▽74kg級 満名宣行 奥武山TC
68kg (スクワット) 132kg (ベンチプレス) 260kg (合計)
▽83kg級 宮下聡記 奥武山TC
78kg (スクワット) 150kg (ベンチプレス) 300kg (合計)
▽93kg級 池田翔一 チームGUTEL
85kg (スクワット) 170kg (ベンチプレス) 350kg (合計)
▽84kg級 照屋利恵 POWER SPORT
80kg (スクワット) 160kg (ベンチプレス) 320kg (合計)

県勢5人が九州制覇

パワーリフティング 国体へ前進

パワーリフティングの九州入りが優勝、1人か2位に九州選手権大会九州選手権大会に入った。今年の和歌山国体は、浦原のクロバから公開競技に採用。初の1プレーで行われ、県勢は団体出場がほぼ確実とな

清澤一理事長（前列中央）、山下副理事長（同左）と上位入賞の選手たち。仲尾タイムス社

▽59kg級 宮城善 奥武山TC
57.5kg (スクワット) 92.5kg (ベンチプレス) 225kg (合計)
▽66kg級 会田隆宏 奥武山TC
60kg (スクワット) 120kg (ベンチプレス) 240kg (合計)
▽74kg級 満名宣行 奥武山TC
68kg (スクワット) 132kg (ベンチプレス) 260kg (合計)
▽83kg級 宮下聡記 奥武山TC
78kg (スクワット) 150kg (ベンチプレス) 300kg (合計)
▽93kg級 池田翔一 チームGUTEL
85kg (スクワット) 170kg (ベンチプレス) 350kg (合計)
▽84kg級 照屋利恵 POWER SPORT
80kg (スクワット) 160kg (ベンチプレス) 320kg (合計)

■ 兵庫県ベンチプレス 選手権大会 写真：IPC公認国内審 物江 毅



3月29日、兵庫県パワーフラッシュアリーナにて第16回兵庫県ベンチ並びに第6回障がい者ベンチプレス大会が開催されました。兵庫県協会塩田理事長、並びに、兵庫県での障害者ベンチに大変ご尽力いただいている障がい者連盟仲連監事、障がい者連盟古城ドクターには、連盟として、心より感謝申し上げます。

東京パラリンピックを狙うには、2015年と2016年が新人にとって、とても大切な時期となります。2016年までに名乗りを上げていない選手は、2024年まで、パラリンピックには、参加できません。従いまして、この兵庫県大会は、新人発掘として、非常に大きな意味を持つ大会となっています。

連盟では、東京パラリンピックを視野に、法人格を取得し、名称も、パラ・パワーリフティングと改め、少しでも多くの選手を東京パラリンピックに送りたいと、選手発掘、選手育成、ガバナンス強化に励んでおります。兵庫県の皆様に感謝申し上げますとともに、もし、選手情報がありましたら、連盟までご一報いただけるとありがたいです。

(特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟、事務局長、吉田寿子 hisako@phouse.jp)



都道府県ニュース

What's happening in your district

写真左、大分からやってきた新人松崎選手と塩田兵庫県理事長、仲連盟監事

写真右、連盟発足当時から選手を引っ張っている高橋IPC公認国内審判員